



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 エクセル

上場取引所 東

コード番号 7591 URL <http://www.excelweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大滝 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員グループ財務本部長 (氏名) 谷村 偉作

TEL 03-5733-8404

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,803	10.7	128		140		208	195.3
2019年3月期第1四半期	14,335	41.7	68	86.7	79	84.8	70	85.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 509百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 355百万円 (53.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	24.08	
2019年3月期第1四半期	8.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	38,599	23,964	62.1	2,765.26
2019年3月期	43,739	24,611	56.3	2,839.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,964百万円 2019年3月期 24,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		16.00	26.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		18.00		38.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	6.0	50		100		400	606.4	46.16
通期	70,000	3.7	620	67.6	450	78.3	1,230	116.0	141.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	9,086,755 株	2019年3月期	9,086,755 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	420,631 株	2019年3月期	420,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,666,124 株	2019年3月期1Q	8,666,175 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期のわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られ、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、米国は底堅く推移したものの、英国のEU離脱、保護主義的な通商政策を背景とした貿易摩擦等の拡大等、先行きに対する不透明感が強まりました。

こうした状況下、当社グループの属する電子部品業界においては、車載市場では電子化の進行により引続き市場が拡大することが期待されておりますが、スマートフォン市場に関しましては、市場の成熟化や米中貿易摩擦の長期化等により低調な推移となりました。

当社グループにおいては、第7次中期経営計画の達成に向け、事業ポートフォリオの再構築を通じて、事業構造を抜本的に改革することを急務として取り組んでおり、第2の創業とも言えるこの改革を早期に実現し、企業価値向上につなげるべく「液晶総合力でNo.1となる」「取扱製品を拡充・拡販する」「新規市場を開拓する」を中心とする様々な施策を講じて参りました。しかしながら、当連結会計年度では、スマートフォンを中心とする中小型液晶の販売が、中国スマートフォン市場の低迷に加え、仕入先の市場要求への対応遅れ等により新たな受注を十分に受けることが出来ず、低調に推移したため、売上高は128億3百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

また、各品目別の概況は次のとおりであります。

- | | |
|------------|--|
| (液晶デバイス) | 国内市場におけるアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加したものの、海外市場におけるスマートフォンを中心とする中小型液晶の販売が、中国スマートフォン市場の低迷に加え、仕入先の市場要求への対応遅れ等により新たな受注を十分に受けることが出来ず、低調に推移したため、売上高は69億63百万円（前年同期比20.9%減）となりました。 |
| (半導体・集積回路) | 国内市場における半導体ビジネス等の販売が低調に推移し、海外市場においては前期に立ち上げた半導体ビジネスが引き続き堅調に推移したものの、国内市場の売上減少を補うには至らず、売上高は14億41百万円（前年同期比10.6%減）となりました。 |
| (電子部品・その他) | 国内市場におけるACアダプタ等の販売が堅調に推移し、海外市場においてはタッチパネル等の販売が好調に推移したことから、売上高は43億98百万円（前年同期比12.3%増）となりました。 |

利益面では、売上原価120億41百万円を控除した売上総利益は7億61百万円（前年同期比29.1%減）となり、人件費4億82百万円を中心とする販売費及び一般管理費は8億89百万円であり、結果営業損失は1億28百万円となりました。

営業外収益及び費用では受取配当金24百万円、仕入割引15百万円、支払利息51百万円、為替差損6百万円等を計上した結果、経常利益段階では1億40百万円の損失となっております。

税金等調整前四半期純利益は3億27百万円となり、税金費用等を控除して当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8百万円（前年同期比195.3%増）となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本ではアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加したものの、半導体ビジネス等の販売が低調に推移したことにより、売上高は39億58百万円（前年同期比8.3%減）となりました。アジアにおいてはスマートフォンを中心とする中小型液晶の販売が、中国スマートフォン市場の低迷に加え、仕入先の市場要求への対応遅れ等により新たな受注を十分に受けることが出来ず、低調に推移したため、売上高は88億44百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の連結総資産は、385億99百万円（前連結会計年度末比51億39百万円、11.8%の減少）となりました。

資産では、受取手形及び売掛金124億40百万円を中心とする流動資産が333億90百万円で、総資産の86.5%を占め、固定資産52億8百万円が残りの13.5%を占めています。

一方、負債合計146億35百万円（前連結会計年度末比44億円92百万円、23.5%の減少）のうちでは支払手形及び買掛金50億5百万円、短期借入金82億34百万円がその主なものとなっております。

純資産の部では、純資産合計は239億64百万円（前連結会計年度末比6億47百万円、2.6%の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,009	8,039
受取手形及び売掛金	15,641	12,440
電子記録債権	1,206	1,939
商品及び製品	10,465	10,533
その他	898	438
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	35,221	33,390
固定資産		
有形固定資産	1,196	1,190
無形固定資産	57	55
投資その他の資産		
破産更生債権等	13,767	11,564
その他	5,100	4,002
貸倒引当金	△11,604	△11,603
投資その他の資産合計	7,263	3,963
固定資産合計	8,518	5,208
資産合計	43,739	38,599
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,025	5,005
短期借入金	10,231	8,234
未払法人税等	18	87
賞与引当金	122	64
早期退職費用引当金	12	-
その他	1,671	490
流動負債合計	18,083	13,883
固定負債		
退職給付に係る負債	234	228
資産除去債務	0	0
その他	809	523
固定負債合計	1,044	752
負債合計	19,127	14,635

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086	3,086
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	17,632	17,702
自己株式	△571	△571
株主資本合計	22,798	22,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,815	1,112
為替換算調整勘定	6	△7
退職給付に係る調整累計額	△8	△8
その他の包括利益累計額合計	1,813	1,095
純資産合計	24,611	23,964
負債純資産合計	43,739	38,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,335	12,803
売上原価	13,261	12,041
売上総利益	1,073	761
販売費及び一般管理費	1,005	889
営業利益又は営業損失(△)	68	△128
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	28	24
為替差益	25	-
仕入割引	3	15
その他	7	6
営業外収益合計	74	50
営業外費用		
支払利息	61	51
為替差損	-	6
その他	1	4
営業外費用合計	62	62
経常利益又は経常損失(△)	79	△140
特別利益		
投資有価証券売却益	-	468
特別利益合計	-	468
税金等調整前四半期純利益	79	327
法人税、住民税及び事業税	17	108
法人税等調整額	△2	9
法人税等合計	15	118
四半期純利益	64	208
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	70	208

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	64	208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	△703
為替換算調整勘定	190	△14
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	290	△717
四半期包括利益	355	△509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450	△509
非支配株主に係る四半期包括利益	△95	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,316	9,543	13,859	475	14,335	-	14,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	696	147	844	-	844	△844	-
計	5,012	9,691	14,703	475	15,179	△844	14,335
セグメント利益又は損 失(Δ)	△38	98	60	11	72	△3	68

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(Δ)の調整額△3百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(Δ)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,958	8,844	12,803	-	12,803	-	12,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	630	299	930	-	930	△930	-
計	4,589	9,144	13,733	-	13,733	△930	12,803
セグメント利益又は損 失(Δ)	△139	9	△130	-	△130	2	△128

(注)1 セグメント利益又は損失(Δ)の調整額2百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(Δ)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。